



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社

コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上清恒

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員事業支援本部長 (氏名) 清水健一

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 042-359-7099

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,694	6.2	902	50.5	908	52.8	543	58.1
25年3月期第2四半期	8,183	1.4	599	4.0	594	7.6	343	41.5

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 578百万円 (79.2%) 25年3月期第2四半期 322百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	48.02	47.25
25年3月期第2四半期	32.82	32.61

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	24,129		13,794		57.1
25年3月期	23,452		12,220		52.0

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 13,778百万円 25年3月期 12,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	1.7	1,900	9.7	1,900	10.2	1,200	13.1	102.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	12,061,100 株	25年3月期	10,643,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	17,107 株	25年3月期	17,107 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,321,493 株	25年3月期2Q	10,475,909 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国の経済は、政府による新たな成長戦略や日本銀行による金融政策などを背景に円安・株高が進行し、輸出や個人消費が徐々に増加したことなどから、着実な回復傾向を示しました。

このような経済環境のもと、当社グループの業績につきましては、比較的高価格帯の補聴器の販売が堅調に推移したことに加え、国内環境計測市場や海外の半導体関連市場で設備投資意欲が増進したことなどにより、前年同期と比べて増収増益となりました。

当第2四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	増減	増減率 (%)
売上高	8,183	8,694	511	6.2
営業利益	599	902	302	50.5
経常利益	594	908	314	52.8
四半期純利益	343	543	199	58.1

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(医療機器事業)

補聴器では、当社最上位機種のリオネットマジェスシリーズの販売が堅調に推移したことに加え、平成25年2月発売のハウリングキャンセラーを強化した中価格帯製品リオネットプレシアが売上に貢献しました。また、8月には新製品リオネットプレシアVを発売しラインナップの充実を図るとともに、敬老の日販売促進イベントを各地で開催し拡販に努めた結果、売上が増加しました。医用検査機器では、医療機関向けの診断用オージオメータの買替需要が継続したこと、並びに新規開業案件の実績が前年を上回ったことなどから前年同期を超える売上高となりました。

これらの結果、医療機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

(環境機器事業)

音響・振動計測器では、産業計測市場において設備投資意欲が増進し、振動計を中心としたシステム製品の販売が好調に推移したことに加え、国内外の環境計測市場において騒音計の販売が増加しました。微粒子計測器では、国内において、薬品・レジストメーカーへの液中微粒子計の販売が堅調に推移したほか、昨年発売した大流量の気中微粒子計が医薬食品関連市場で売上を伸ばしました。海外においては、主要顧客である電子デバイス関連市場や先端技術分野での設備投資が活発化していることから、液中微粒子計の売上が増加しました。

これらの結果、環境機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

当第2四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益又は 営業損失(△)		
	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	増減	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	増減	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	増減
医療機器事業	5,342	5,510	167	4,719	4,764	44	623	746	123
環境機器事業	2,840	3,184	343	2,864	3,027	163	△23	156	179
計	8,183	8,694	511	7,583	7,791	208	599	902	302

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療機器事業では、補聴器において、製品ラインナップの強化を通じて潜在需要の掘り起こしを図るとともに、当社販売網の販売支援活動を強化し、販売増加に努めてまいります。また、医用検査機器では、下期においても医療機関で一定の設備投資が継続するものと見込んでおり、医療機関との更なる連携強化に努め、買替需要の促進や新規開業案件の情報収集を行い、着実な販売増加を目指してまいります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、今後執行が見込まれる官公庁の予算案件を確実に捕捉するとともに、中国市場をはじめとする海外販売の増加を目指してまいります。微粒子計測器では、海外の電子デバイス関連市場を中心に引き続き需要が継続するものと見込んでいるほか、国内の医薬食品関連市場の需要を取り込むことにより、着実に実績に結びつけてまいります。

連結業績予想につきましては、第3四半期以降の売上高をほぼ前年同期並みと見込んでいること、また、上期に執行を予定していた経費の一部が下期にずれ込んだことなどから、現時点におきましては平成25年4月30日に公表した数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,564,652	3,539,794
受取手形及び売掛金	5,351,624	4,877,548
たな卸資産	3,306,301	3,362,971
その他	751,160	780,945
貸倒引当金	△67,843	△66,415
流動資産合計	11,905,895	12,494,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,988,026	1,932,276
土地	6,374,644	6,374,644
その他(純額)	833,104	928,490
有形固定資産合計	9,195,775	9,235,410
無形固定資産		
投資その他の資産	409,540	417,984
その他	2,025,552	2,057,513
貸倒引当金	△84,704	△76,304
投資その他の資産合計	1,940,848	1,981,209
固定資産合計	11,546,163	11,634,604
資産合計	23,452,059	24,129,449
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,895	1,124,110
1年内償還予定の社債	410,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	941,602	851,702
未払法人税等	452,177	361,965
賞与引当金	775,595	805,366
製品保証引当金	160,962	165,197
返品調整引当金	59,871	62,796
その他	322,343	308,595
流動負債合計	4,374,447	3,959,734
固定負債		
社債	440,000	300,000
長期借入金	1,918,313	1,534,587
退職給付引当金	2,577,644	2,609,172
その他	1,921,102	1,931,917
固定負債合計	6,857,060	6,375,677
負債合計	11,231,507	10,335,412

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,328,578	1,947,291
資本剰余金	1,752,076	2,370,790
利益剰余金	5,674,173	5,984,078
自己株式	△10,094	△10,094
株主資本合計	8,744,733	10,292,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164,900	199,046
土地再評価差額金	3,288,541	3,288,541
為替換算調整勘定	△1,305	△711
その他の包括利益累計額合計	3,452,136	3,486,877
新株予約権	23,681	15,093
純資産合計	12,220,551	13,794,036
負債純資産合計	23,452,059	24,129,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,183,439	8,694,462
売上原価	3,952,539	4,090,373
売上総利益	4,230,900	4,604,088
販売費及び一般管理費	3,631,231	3,701,529
営業利益	599,668	902,559
営業外収益		
受取利息	2,083	2,718
受取配当金	7,123	7,040
受取家賃	14,827	15,613
受取保険金	12,086	5,618
その他	6,313	12,439
営業外収益合計	42,434	43,429
営業外費用		
支払利息	22,512	17,023
株式交付費	—	11,189
その他	25,049	9,175
営業外費用合計	47,562	37,388
経常利益	594,541	908,600
特別利益		
投資有価証券売却益	832	—
特別利益合計	832	—
特別損失		
固定資産売却損	229	—
固定資産除却損	4,073	3,299
投資有価証券評価損	83	—
特別損失合計	4,386	3,299
税金等調整前四半期純利益	590,988	905,301
法人税、住民税及び事業税	233,059	369,616
法人税等調整額	14,082	△7,992
法人税等合計	247,141	361,624
少数株主損益調整前四半期純利益	343,846	543,677
四半期純利益	343,846	543,677

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	343,846	543,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,534	34,146
持分法適用会社に対する持分相当額	△534	594
その他の包括利益合計	△21,068	34,740
四半期包括利益	322,777	578,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,777	578,417
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	590,988	905,301
減価償却費	297,983	257,118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△684	△9,827
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,482	29,771
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,397	4,235
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	5,480	2,924
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,230	31,528
受取利息及び受取配当金	△9,206	△9,758
支払利息	22,512	17,023
持分法による投資損益 (△は益)	115	531
投資有価証券売却損益 (△は益)	△832	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	83	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	4,303	3,299
売上債権の増減額 (△は増加)	681,118	484,025
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△154,435	△56,669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,313	△127,784
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,048	△8,219
その他	6,895	△35,190
小計	1,441,070	1,488,309
利息及び配当金の受取額	9,206	9,758
利息の支払額	△23,505	△17,578
法人税等の支払額	△274,986	△460,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,151,785	1,020,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,401	△302,402
有形固定資産の取得による支出	△201,976	△191,194
無形固定資産の取得による支出	△55,783	△96,111
投資有価証券の取得による支出	—	△15,000
投資有価証券の売却による収入	5,453	6,620
その他	722	△482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,985	△598,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△468,090	△473,626
社債の償還による支出	△390,000	△270,000
株式の発行による収入	—	1,149,126
ストックオプションの行使による収入	3,178	79,713
配当金の支払額	△208,950	△232,718
その他	△1,207	△1,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,065,069	250,899
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,269	672,739
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,936	2,381,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,703,666	3,054,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年7月18日を払込期日とする公募増資及び同年8月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関する第三者割当増資を実施しております。この増資により、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ574,563千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ44,150千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は1,947,291千円、資本準備金は2,370,790千円となっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,342,521	2,840,918	8,183,439	—	8,183,439
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,342,521	2,840,918	8,183,439	—	8,183,439
セグメント利益又は損失(△)	623,127	△23,458	599,668	—	599,668

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,510,241	3,184,220	8,694,462	—	8,694,462
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,510,241	3,184,220	8,694,462	—	8,694,462
セグメント利益	746,163	156,395	902,559	—	902,559

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。